

## 平成 28 年度第4回(第 53回)CPD プログラム委員会議事録

日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木） 10:00～12:00

場 所：森戸記念館 第 2 会議室

出席者：日比谷啓介委員、田辺朗委員、山尾泰委員、横内貴志男委員長、木村軍司幹事

オブザーバ：鈴木忠道様

### 配布資料

- 資料 4-1 日本工学会 CPD 協議会 CPD プログラム委員会構成 (H28. 11. 17)
- 資料 4-2 平成 28 年度第 3 回 (第 52 回) CPD プログラム委員会議事録 (案)
- 資料 4-3 第 9 回 (平成 28 年度第 3 回) CPD 運営委員会議事録 (案)
- 資料 4-4 CPD 関連委員会活動活性化の件
- 資料 4-5-1 H28 CPD ホームページ検討資料
- 資料 4-5-2 CPD 協議会会長メッセージ
- 資料 4-5-3 協議会ホームページ検討 (カテゴリー A) の内容修正案
- 参考資料 1 CPD 協議会 会議等開催予定表
- 参考資料 2 平成 28 年度第 2 回 CPD 協議会シンポジウム案内

### 議事

1. 横内喜志男委員長の司会で議事が進められた。
2. 前回議事録の確認  
資料 4-2 の議事録は、異議なく承認された。
3. 平成 28 年度第 2 回 CPD 運営委員会の報告  
資料 4-3 に基づいて、平成 28 年度第 2 回 CPD 運営委員会の報告があった。  
報告内容は、CPD プログラム委員会及び ECE プログラム委員会の活動報告、平成 28 年度第 2 回 CPD 協議会シンポジウムの企画、CPD 協議会ホームページの内容修正などである。
4. CPD Log Front 導入の継続検討に係る会長意見  
CPD システム運用検討委員会からの最終報告があった前回委員会の後、広崎会長が専門家から得たセカンドオピニオンを背景とする下記の会長意見が紹介された (会長欠席のため代読)。  
「前回委員会において、システム構築運用面および日本工学会としてのメンテナンス体制の観点から、提案中の CPD Log Front の導入は困難との CPD システム運用検討委員会からの最終報告があった。一方で、ほぼすべての技術者がスマホ世代に世代交代している現状、および、スマホを介した QR コード活用アプリ、フリーソフトが市中に豊富に出回っている現状を考えると、その活用を継続検討する価値があるのではないかという専門家か

らのセカンドオピニオンを得ている。このような可能性を踏まえて、本件は CPD プログラム委員会内にて基本戦略を練り直すための継続検討事項としてはどうか。」

これに関し以下の意見があった。

- ・ CPD Log Front の導入が困難であるとした CPD システム検討委員会の最終報告の内容は、8月25日の CPD プログラム委員会の席上で承認された。導入困難とした理由の克服はかなり難しいのではないか。
- ・ 継続検討をするということであれば、既に解散した CPD システム運用検討委員会が再度検討をするのではなく、会長意見のとおり CPD プログラム委員会で検討することに賛成する。
- ・ 継続検討をするために新たな専門家の参画を求める場合、既に検討済みの CPD Log Front に係る技術資料を開示する必要があるれば、同技術の開発者から同意を得る必要がある。
- ・ 電気学会では、CPD Log Front を用いた登録システムの実用化に向けて、来年度、独自に試行を行うことになった。

#### 5. CPD 関連委員会活動の活性化について

資料4-4に基づいて、CPD 関連委員会活動の活性化に関する広崎会長からの提案について、横内委員長から説明があった。

これについて以下のような意見が出された。

A) CPDプログラム委員会の①に関して、日本工学会の定義では、「CPDプログラム」というのは、講習会、シンポジウム、講演会などを指すので、ここではCPD全体を対象とするように、「プログラム」を削除し、単に「CPD」とするのが良いのではないか。同じく②に関して、1つの委員会に集中すると人数が多すぎるので、CPDプログラム委員会またはECEプログラム委員会のいずれかに委員を派遣してもらおうというのが良いのではないか。

#### 6. 協議会ホームページにおける会員学協会 CPD リンク整備状況、および日本工学会 CPD ホームページの検討について

資料4-5-1～3に基づき、協議会ホームページにおける会員学協会 CPD リンク整備状況、および日本工学会 CPD ホームページの検討に関して説明があった。広崎会長からの、CPD 活動の重要性および分野横断的な連携を図る CPD 協議会の活動等に関するメッセージが掲載された。広報委員会から、会員学協会へ CPD リンク先アドレスを報告するよう依頼し、現在返事が届いている状況である。

これについて以下のような意見が出された。

前回、CPD プログラム委員会で検討することになったカテゴリーCの、「ポータルサイト」、「入会案内」及び「会員専用」の部分については、今後、広報委員会と連携を取りながら検討を進めるのが良い。

ホームページに載っている「日本工学会 CPD ガイドライン」の最終ページには平成22年7月現在の会員学協会一覧が載っており、この時の会員数は36団体である。平成28年6月30日現在の会員数は24団体と、この6年間に12団体減少している。費用対効果から退会する

のではないかとということが考えられる。会員は日本工学会へ会費を払い、その中の委員会に所属するため、更に会費を払うというのは会費の二重取りなので、会員の減少を止めるには、CPD 協議会の会費を徴収するのはやめるべきであろうという意見が出された。

次回開催：横内委員長の都合の良い複数の日を、後日メールで知らせるので、その中で多くの委員の出席可能な日を選ぶことにした。

以上